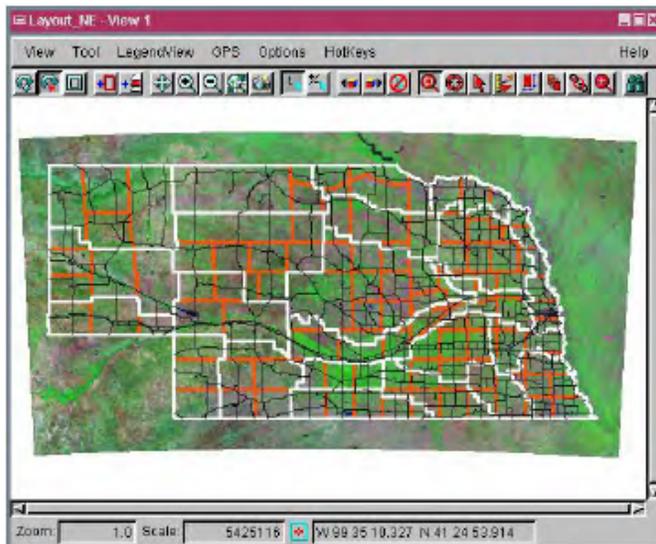


# スケールによる表示レイヤのコントロール

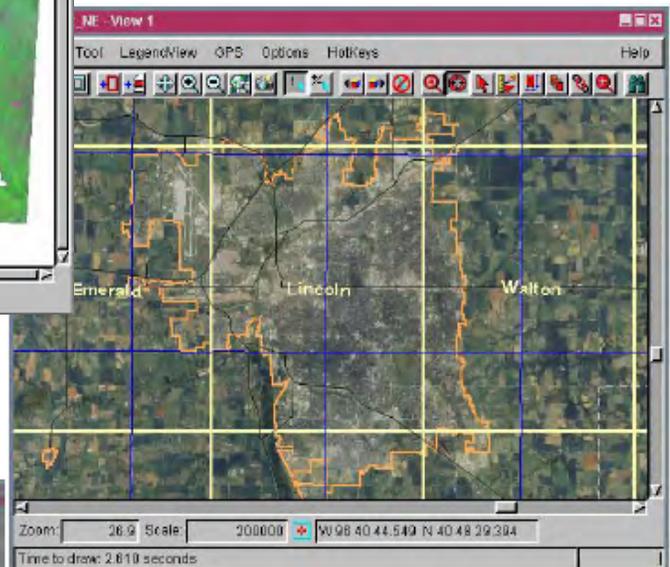
ご存知でしたか?... 地図スケールを使って、拡大や縮小に伴いレイヤの表示・非表示をコントロールできます。

スケールにより表示するレイヤをコントロールすることで...

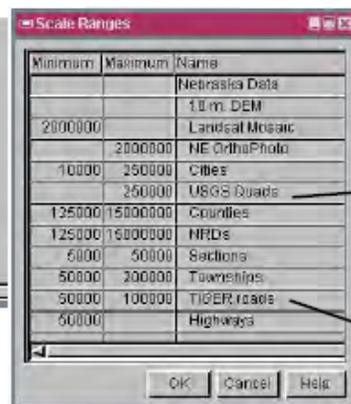
- 拡大に伴い、解像度の低い画像から解像度の高い画像に置き換えることができます。
- 地図が読める状態のスケールの時だけレイヤを表示できます。
- 様々な地図スケールにおいて、表示するレイヤのタイプを変更出来ます (例えばベクタからラスタ等)。



左図の郡境界、天然資源区域データ (NRDs)、ランドサットのモザイク画像が拡大に伴い、下図の正射写真、市、USGS グリッド、市町村境界に置き換えられます。レイヤ毎に〈レイヤコントロール (Layer Controls)〉ウィンドウの [オブジェクト (Object)] パネルで表示するスケールの範囲を入力することができます。



グループまたはレイアウトの右マウスボタンメニューから [スケール範囲のセット (Set Scale Ranges)] を選択すると、〈スケール範囲 (Scale Ranges)〉ウィンドウが開きます。



このレイヤは 1:250000 を超えて拡大した時だけ表示されます。

このレイヤは地図スケールが 1:50000 から 1:100000 の間の時だけ表示されます。

スケールによって表示レイヤをコントロールするための設定方法

- グループまたはレイアウトの右マウスボタンメニューから [スケール範囲のセット] を選択します。
- レイヤを表示する最小スケール (分母の値) を入力します (左の欄)。
- レイヤを表示する最大スケール (分母の値) を入力します (右の欄)。
- 全ての範囲で表示させたい場合、項目を空欄にしておきます。

さらに知りたいことがあれば...



マイクロイメージのウェブサイトをご覧ください

(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14  
 紀伊国屋ビル 1F  
 Tel: (03)3623-2851  
 Fax: (03)3623-3025  
 E-mail: info@opengis.co.jp